

## Injury Alert (傷害速報) 類似事例

パルスオキシメータのプローブの誤飲 (No. 54 心電図用ディスプレイケーブル電極の誤飲の類似事例1)

事例	年齢：2歳9か月 性別：女児 体重：8.9kg 身長：74.1cm	
傷害の種類	誤飲	
原因対象物	パルスオキシメータのプローブ	
臨床診断名	異物誤飲	
発生状況	発生場所	院内の入院病棟(4人床の大部屋)、床頭台にパルスオキシメータの本体を置き、足にプローブを装着していた。
	周囲の人・状況	大部屋に保護者の付き添いはなく一人で入院しており、室内に他に誰もいなかった。
	発生年月日・時刻	2017年1月9日 午後8時15分
	発生時の詳しい様子と経緯	trisomy-21が基礎疾患にある児。動脈管閉鎖目的のカテーテル治療前の感染コントロール目的で入院していた。看護師が他児対応中に啼泣していたが、本人を確認しに戻ったときには機嫌は改善しベッド上で遊んでいた。その時点でパルスオキシメータのプローブがなくなり、導線のみとなっている状態であることに気づいた。
治療経過と予後	すぐに医師が診察したところ、歯(右下D)に3mm程の金属片が付着しており摘出した。腹部レントゲン検査を行ったところ胃内に5.6mmの金属片を確認し、その後は、パルスオキシメータ装着は夜間のみにした。自然排泄を期待し経過観察したが、事故発生3日後まで排便を認めず、浣腸処置を行ったが排泄物の中に金属片は認めなかった。4日後に転院し7日後にカテーテル治療を行ったが、その際の腹部レントゲン検査では金属片は消失していた。経過中バイタルサインに異常なく、呼吸症状、消化器症状は認めなかった。	

